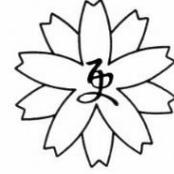


掛川地区 更女会だより

第98号 更女会だより

掛川支部担当

令和2年2月発行



『新年を迎えて』

会長 小澤 悦子

あけましておめでとうございます。令和最初のお正月を迎えました。皆様方におかれましては、希望に満ちた新年を迎えられた事と思います。

平成最後に更女のバトンを引き継ぎ、もうすぐ1年です。7月1日の「社会を明るくする運動」辺りから秋にかけて、行事や研修会が目白押し。会員の皆様や役員さん、大忙しでしたね。ご協力ありがとうございました。

昨年度当初、実家近くの農産物販売所で、中学校の同級生にバツリ遭遇。「私も更女に入ったよ!」と。とてもうれしい声掛けをいただきました。幼稚園児位のお孫さんといっしょだった為、「活動は、できないよ。」とのこと。大丈夫です。お孫さんの手が離れたら一緒に活動できますよね。その日を楽しみにしています。

総会の時、皆様からご協力いただいた一円玉募金を社会福祉協議会へ手渡しました。15,512円もありました。社協のホームページに掲載してくれたそうですのでのぞいてみてください。更女のホームページも見てくださいね。更女会だよりをアップしていただきました。少年の家食事作りの夕食がカラー版で、とてもおいしそうに載っていました。

今年度も後すこしとなりました。私達の活動を一人でも多くの方に知っていただき、新会員の加入を図りたいと思います。

とりとめないご挨拶となりましたが、今年も一年よろしく願いいたします。



目次

- P1 新年を迎えて
(会長 小澤 悦子)
- P2 裁判を傍聴して
(掛川支部 平出 志げ子)
- P2 少年の家の夕食作り
(掛川支部 野中 玲子)
- P3 冠講座 県立掛川西高校
(大須賀支部 鈴木 睦子)
- P3 西部ブロック研修会
~令和2年は掛川市で開催、
ご協力を~
- P4 しゃべり場
~すっきり暮らすこれからの片付け
講座・エネルギーと私達の暮らし~
(大須賀支部 神谷 郁子)
- P4 おしゃべり交流会に参加して
(大須賀支部 佐藤 まさ江)
- P5 ふれあい広場で更女会PR
P5 初めての静岡矯正展
(掛川支部 橋本 富美枝)
- P6 大東市民交流センター祭りに
参加して
(大東支部 熊切 信子)
- P6 長年のご貢献に感謝
- P7 「フェスタおおぶち」に参加して
(大須賀支部 鳥山 徳美)
- P7 まきばの家支援活動に参加
(大須賀支部 木下 艶子)
- P8 長野刑務所を視察しました
(掛川支部 新堀 のり子)

掛川市役所福祉課

掛川市長谷 1-1-1

TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 小澤 悦子 TEL:23-0836

『裁判を傍聴して』 8/9. 27. 9/3. 6

掛川支部 平出 志げ子

テレビのドラマで、時々見る法廷のシーン、まさしくそのものでした。私達はその傍聴席に座っています。当初、被告人の方も充分反省している様子で、この案件は早く解決するのだらうと思っていましたが、検察官から厳しく追求されると、農業一筋で生きてきた高齢者の被告人は、しっかりと自分の意思を伝えることが出来ません。

高齢ドライバーによる交通事故が何かと話題になっている近頃、今回の事故もその高齢者の運転によるものでした。

交通事故は、被害者、加害者は勿論、周囲の人の人生さえも変えてしまう重大なものです。

今も時々あの法廷の場面が頭に浮かび、ああ！交通事故は絶対おこしてはいけないと思うのです。



『少年の家の夕食作り』 8/19

掛川支部 野中 玲子

8月19日、昨年入会したばかりの私が、初めて「少年の家」へ行くことになりましたが、入所者の方とどう接したらいいのか不安でした。

静岡駅に11時頃到着し、早目の昼食をとりながら「献立会議」。メニューはカレーとサラダと牛乳寒です。

バスに乗って「少年の家」へ。酷暑の中、所長さんが玄関前を出迎えてくれ、冷房のきいた調理室へ案内してくださいました。

「入所者は7名と職員1名。カレーライスは大好きだから、おかわりするので多めに作ってください。少年はいません。中高年のみです。」とされました。

会員からは朝採りの胡瓜とミニトマト、馬鈴薯をお持ちいただきました。サラダは年代に合わせて、ワカメと麩と胡瓜の酢の物、ミニトマトは皮を丁寧に剥いてシロップ漬けに変更しました。カレーは大鍋にたくさん煮込みました。カレー以外

の物は傷まぬように冷蔵庫に入れて、完了。

それから所長さんが施設を案内してくれ、生活の様子を見学させていただきました。

入所者の方々との交流はありませんでしたが、食べてくれる人の事を思いながら調理するのってとても楽しいですね。



『冠講座 県立掛川西高校』 9/12 (木)

大須賀支部 鈴木 睦子

木目調の廊下・教室は温かな“和”のぬくもりを醸し出していました。廊下で行き交う生徒さんの一人一人が『こんにちは～』と元気な挨拶を交わしてくださり、体育館に案内された私たちに活気を投げかけてくれました。

今日の講師は『スズキ』の産業医をされている新島先生！

睡眠と健康と題して

1. 睡眠は脳に溜まった老廃物を除去する為に必須であり7～8時間が望ましい。
2. 心地よく睡眠に入るには、また眠れないときは、大きく深呼吸して、今日一日に感謝し満足して目を閉じる
布団の中で今日の反省をしたり、くよくよ考えたりしない

等、睡眠の大切さと共に、上手な睡眠方法を講演いただきました。

高校生に限らず、つい夜更かししがちな毎日の生活ですが、健康管理の源である睡眠の時間を意識することが必要と、改めて感じました。

これからの受験シーズンに向けて、聴講した生徒さんが、自分の睡眠時間を上手に確保して勉学に励み、心身共に健康で過ごしてもらいたいと思いつつ、講師へお礼の挨拶をして解散しました。

新島先生は最後に『春は花・夏ほととぎす・秋は月・冬雪さえて冷やしかりけり』と睡眠が自然の摂理であることを 道元禅師の和歌で結ばれました。



『西部ブロック研修会』 9/26

～令和2年は掛川市で開催、ご協力を～

静岡県更生保護女性連盟主催の西部ブロック研修会が御前崎市の新野公民館で9月26日(木)に開かれました。御前崎・菊川市以西の市町から51名の参加があり、朝10時から午後3時頃まで、基調講話やグループ討議、全体会などが行われました。掛川からは小澤会長、大橋・大石・新堀副会長、和田理事の5名が参加しました。

まず、静岡保護観察所の宮山企画調整課長が「地域のための更生保護女性会活動に向けて」と題して基調講話を行い、現在の更生保護施設への支援や刑務所・少年院への協力、関係団体との連携支援、社会を明るくする運動など犯罪予防活動、小学生の通学見守り活動や高齢者の支援などへの活躍を引き続き期待していること。加えて、近年問題となっている特殊詐欺やインターネット関連犯罪、出会い系サイトや過疎化・高齢単身世帯増加への対応、外国人との共生、子供の貧困などにも新しい活動のフ

ィールドを広げてほしいとのことでした。

また、静岡県連盟の堀靖代会長は、「活動の見える化」と題する基調講話を行い、更生保護女性会の成り立ちを明治16年頃から大正・昭和と順を追ってお話くださいました。そしてボランティアだからこそ資金は自分たちで作るという精神が更女会にはあるといい、また時代に変化があるように更女会の活動も変化しなければならないと考えているとのことでした。そして活動をしたという実感が欲しいならば、だれかを幸せにしたとき、自分も幸せを感じることができ、活動の充実感を味わえるのだということを忘れないようにしてほしいと言っていました。

令和2年の今年、掛川市が会場になりますので、準備や会場設営などのお手伝いをお願いすることになると思います。ご協力をお願いします。

『しゃべり場』 9/25

～すっきり暮らすこれからの片付け講座・エネルギーと私たちの暮らし～

大須賀支部 神谷 郁子

更女の会に入会し私にとって3回目の研修です。内容は、

- ①すっきり暮らす これからの片付け講座
- ②エネルギーと私達の暮らし
- ③しゃべり場タイム です。

①の講座では上手にモノを手放す為の考え方、片づけのステップ、気持ちを切り替える5つのステップ等を学びました。最もだな～と思いながら聴きました。年齢も70才をすぎ色々整理しなくてはと思っている時でしたので、私にとってタイムリーな講座でした。まず気持ちを切り替え片付けのステップをふみ不必要になった物は感謝をこめて潔く手放す事をしようと思います。自分がめざす「整理整頓されている環境」の中で心身共にスッキリと健やかに過ごせたら良いなと思いました。

②の講座は中部電力広報担当の方達から「エネルギーと私達の暮らし」と題し、電力買取のしく

み、再生可能エネルギー発電促進賦課金、分電盤等についてききました。暮らしに直結する内容でしたので、関心を持って聞く事ができました。分電盤早速確認しました。エネルギー問題は難しいですが、広報担当の皆さんが明るく楽しく会を進めてくださいました。

③のしゃべり場タイムではグループのメンバーと講座で聴いた内容で思った事感じた事を出し合いました。メンバーの一言一言に共感したり笑ったり、話が盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。

入会してまだ日が浅いのですが、会のやさしい合い言葉(?)「できる時にできる事を」私もさせていただこうと思います。宜しくお願い致します。

『おしゃべり交流会に参加して』 9/25

大須賀支部 佐藤 まさ江

今年度から更女会に参加させていただいています。今までに、総会・新会員研修会・おしゃべり交流会「片付け講座・エネルギーと私達の暮らし」・裁判傍聴・冠講座「睡眠と健康について」に出席してきました。知らなかった事も多くとてもよい経験が出来たとうれしく思っています。

そして今回は、おしゃべり交流会「あずま袋作り」です。講師の伊藤さんが色々な生地・糸を用意してくださり、自分好みの生地・糸を選んで指導通りに縫っていきます。和気あいあいとおしゃべりをしながら手を動かしているとアツというまに袋が出来上がりました。他の人の作品をお互いに褒めあってとても良い交流会になったと思います。

自家製のとても美味しい梅干しを持って来てくださった方があり、それをいただきながらまたお

しゃべりを楽しみました。

参加している方達も段々顔見知りになり、お話も出来てうれしく思います。

今後も都合のつく限り参加させていただこうと思いますので、よろしく願いいたします。



『ふれあい広場で更女会 PR』 10/20

今年も第15回掛川市ふれあい広場が10月20日(日)生涯学習センターを会場に開催されました。

更女会は掛川支部が担当して参加しました。今年のシールラリーは、社会を明るくする運動のイメージキャラクターは、どれでしょうかという問題に答えてもらうことにしました。小澤会長が①かるがも、②いぬ、③ぺんぎん、④ねこの四つのかわいい絵のクイズを作ってくれたので、来てくれた人に選んでもらい、正解したらシールを貼ってあげました。

更女会の活動をPRしていると、更生保護大会の作文コンテストで表彰されたことがあるとか、今年表彰される予定という親子連れが立ち寄ってくれ、

ちょっと嬉しくなりました。

また活動資金を集めるためバザーを行い、平出芳枝さんが色々なソックスをたくさん寄付してくださいましたので、売って大きな収益を上げることができました。そのほか柿や里芋・椎茸も売ったので、たくさんのお客様が立ち寄ってくださいましたが、会員を増やすことはなかなか難しいことです。それでも塩澤歌子さんが頑張ってくれて、鶴田さんが加入してくださることになりました。



『初めての静岡矯正展』 10/27

掛川支部 橋本 富美枝

第33回 静岡矯正展へ初めて、行って来ました。10月27日、市福祉課柴田係長さんと、更女28名で、市のバスに乗り、ちょっと肌寒い朝9時に出発、10時に静岡刑務所に到着。沢山の赤いのぼり旗が、風に揺れていました。多勢の人が、来場していて、市民に開かれた、展示会なんだなどの、第一印象でした。

イベント広場では、大型トラックの特設ステージで、高校生の和太鼓、吹奏楽、地元アイドルのライブ、美コアトレーニング等々、賑やかに開催されていました。

私達は、最初に、県更女による、お茶席へ参加。その後は、お買物、昼食、施設見学と、自由に過ごしました。バザー会場では、全国各地の刑務所作業場の製品展示即売会、更女の皆さんによる、手作り小物などのバザー等々。私も、靴や小物、お菓子等を買って、昼食には、ハンバーガーを、頬張りました。その頃には、日差しも、大分強くなって来ました。

私のメインは、刑務所内の見学です。受付では、名前を書き、順番に、ゲートから入ります。コンクリートの高い塀に囲まれ、上の方には、何本かの電線が、張り巡らされていました。ここでは、社会復帰と再犯防止を目的とした、訓練をされているとの事。タンスや椅子を作る木工場、紙を使う印刷工場、図書工場、フォークリフト練習場。一回に40人が入る大浴場、トイレと洗面合わせて、4畳の居室、一日30分使えるグラウンド等。殺風景な施設の中、通路にある、更女寄贈の花壇の花が、私たちをホッとさせてくれました。



ホールでの開会式・ラジオ体操で幕が開き、開場と共に多数の来場者でにぎわいました。今年は今更保護女性会の日頃の活動の写真を大きく伸ばし、目で見てわかる活動紹介にしました。顔が見え興味を持っていただき会話もはずみ、更保護女性会を一人でも多く知っていただき加入に繋がれたらと思っています。



🎵 長年のご貢献に感謝 🎵

令和元年11月20日に第66回静岡県更生保護大会が御殿場市民会館で開催されました。

同大会では、長きにわたり更生保護事業に貢献した方々の表彰が行われます。今年は今掛川地区更保護女性会から下記の方々が表彰されましたので、ご報告いたします。

おめでとうございます。

👑 日本更生保護女性連盟会長表彰
富田とみ子さん

👑 関東地方更生保護委員会委員長感謝状
中山キクエさん 渥美敏子さん

👑 静岡保護観察所所長感謝状
小澤悦子さん 大橋充子さん 平出芳枝さん 金原義子さん

表彰されました皆様の長年にわたるご活躍に感謝申し上げますとともに、今後とも掛川更女会の発展にご尽力くださいますようお願いいたします。

『「フェスタおおぶち」に参加して』

大須賀支部 鳥山 徳美

いい天气に恵まれて、そして多勢の皆様にも恵まれて開催されました。更女のブースではアイクの体育館内で更女活動を皆様にもっと知っていただくために啓発運動が紹介され、さまざまな掲示がされました、アイク玄関ホールでは自主作品の販売、更女活動のパンフレットの配布を行いました。

作品は支部会員の皆様による手作り作品が並びました。手ぬぐいを加工して作った「チョイかぶり」が好評でした。廃油で作った「手づくり石けん」は完売して、にぎやかなムードで終了しました。

この活動には前日からブースの設営や掲示等理事や役員の皆様のお力添えがあり、また日頃から作品製作の指導にあたっていただきました伊藤さんのおかげです。ありがとうございました。



『まきばの家支援活動に参加』 12/3

大須賀支部 木下 艶子

昨日の天候とはうって変わり晴天に恵まれた日となり、まきばの家へと向かいました。二度目の訪問ということです。デンマーク牧場にあるので広々としたところで気持ちまで大きくなります。まきばの家の周辺の花壇に花の定植です。すでに段取り準備もされていて、楽しく和気あいあいと、おしゃべりをしながらの作業となりました。途中でのお茶の接待、そしてこちらから会員さん手作りの“タオルのぞうきんの贈呈式”もあり、なご

やかな時間を過ごしました。植えた花がどうなったか是非共行ってみようという思いにかられ、楽しみが出来ました。

素敵な時間をありがとうございました。



「タオルのぞうきん」贈呈式



『長野刑務所を視察しました』 12/9～10

掛川支部 新堀 のり子

今年も保護司会が主催する年一回の矯正施設視察研修に更女会からも8人が参加させていただきました。26名で12月9日（月）から10日（火）にかけて長野県に行ってきました。

視察先の長野刑務所は、明治4年に徒刑場が設置されたことに始まり、明治36年には司法省所管の長野監獄と改称され、大正11年に長野刑務所になりました。同所には20歳以上の男子で、主に関東地域で罪を犯した初犯者が収容されています。定員は1,068名で現在887名が入所していて、平均刑年は8年8か月、平均年齢は43.7歳（最高齢は94歳）、65歳以上は13%だそうです。

庶務課長の石川さんが丁寧に説明してくださいまして、食事は米7に対し麦3のご飯、作業量等によってA1600 cal、B1300 cal、C1200 calと人によってご飯の量は違いますが、おかずはすべて同じで一日当たり432円1020 calとのことでした。



施設内を案内していただきましたが、一番びっくりしたのは入所者が作業している工場の真ん中を歩いて見学し、手が届く距離まで近づくことができたことです。榛葉会長も「たくさんの刑務所を視察してきたが、こんなに受刑者との距離が近かったのは初めてだ」と驚いていました。

バスの中では、亀井事務局長が用意してくれた研修用のビデオを長短合わせて5～6本見ながら、薬物との決別や社会復帰の難しさを改めて勉強させていただきました。

また、10日には小布施の北斎館を見学したり街並みを散策し、長野の善光寺にお参りして帰ってきました。



- 編集後記 -

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

しかし、ここにきて新型コロナウイルスの感染拡大が中国を中心に続いており、産業や経済活動にも大きな影響が出るのではないかと心配されています。

早く終息してくれることを祈りながら、オリンピック・パラリンピックが世界中に感動を与えてくれる大会になることを期待しています。

(掛川支部)